

音羽の滝で水さがし

京都などを会場に来年もろろのがねらいたいという。三月に開催される「第三回世界水フォーラム」に向けた「子ども水フォーラム」が六日、京都市東山区の清水寺で開かれた。音羽の滝の水をくんだり、「水」をテーマにした会議などを開催し水への理解を深めた。

行政やNPO、学者、住民などで結成した「世界子ども水フォーラム」京都実行委員会が主催。子供たちが「世界水フォーラム」に興味を抱いて

清水寺で「子ども水フォーラム」 涼感効果に納得

「会議の前に、参加したに関するものなら何でも約二十人の子供たちは水良い「水さがし」に参加



音羽の滝で水をくむ子供たち。京都市東山区

産経新聞 →

2002年 7月 7日

京都新聞

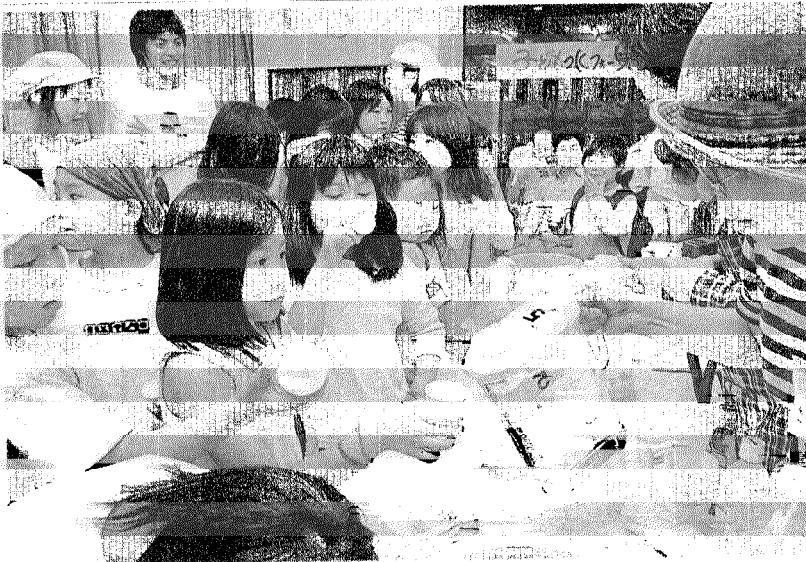


子供たちは、水をひしゃべり、係のある写真を持ち寄り、いろいろな角度から環境を学ぶ大学生もよくくみながら涼感を与え、いろいろな角度からアイスカウトの高校生もええ水の役目に納得して水について話し関心を深めた。

した。環境を学ぶ大学生もよくくみながら涼感を与え、いろいろな角度からアイスカウトの高校生もええ水の役目に納得して水について話し関心を深めた。

子供たちは、水をひしゃべり、係のある写真を持ち寄り、いろいろな角度から環境を学ぶ大学生もよくくみながら涼感を与え、いろいろな角度からアイスカウトの高校生もええ水の役目に納得して水について話し関心を深めた。

2002年 7月 7日 産経新聞
 7/7 京都新聞
 2002年 7月 7日 産経新聞
 7/7 京都新聞



京の名水、子ら味くらべ

子どもと水とのかかわりについて考える「世界子ども水フォーラム」のイベントが6日、京都市東山区の清水寺で開かれた。識者が対談したほか、子どもたちが「利き水」に挑戦、水への関心を高めた。

子ども水フォーラムは、来年3月に京都を中心に開かれる第3回世界水フォーラムに合わせて、市民団体などで構成する実行委が開催する。本番までに各種のイベントを開いて盛り上げを図っていく予定で、京都での取り組みはこの日が最初。

2003
 世界
 水フォーラム

催しには、子どもら約100人が参加。米山俊直大前大学長と木下勇干葉大助教授が対談し、人人が、子どものころに川などで遊んだ原風景を思い出すことが、環境問題を考えることにつながるのではないかと話した。

その後、子どもたちは清水寺の音羽の滝の水や御香宮（伏見区）の水、水道水などの「利き水」を行い、「おいしいから音羽の水かな」などと言いながら味の違いを勉強した。

また、左京区の貴船神社では世界水フォーラムに向けた演奏会「水、七夕、蛍 そして音楽を聴く夕べ」が開かれた。

子どもフォーラム 清水寺でプレ行事